



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 亮  
問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 川上 剛司 (TEL) 06-6411-1236  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,744	4.2	81	86.5	76	94.6	60	137.1
2023年3月期第2四半期	2,632	7.1	43	—	39	—	25	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 60百万円(137.1%) 2023年3月期第2四半期 25百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	5.10	—
2023年3月期第2四半期	2.15	—

四半期連結経営成績に関する注記

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,439	1,299	23.9
2023年3月期	5,595	1,257	22.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,299百万円 2023年3月期 1,257百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,641	2.8	150	△7.0	140	△7.2	90	13.1	7.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	12,317,000株	2023年3月期	12,317,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	462,004株	2023年3月期	461,004株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	11,855,870株	2023年3月期2Q	11,856,996株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、個人消費を中心に緩やかに回復に向かいました。またそれと共に円安による輸出増加やインバウンド需要も再興し多くのセクターにおいて企業業績の改善に寄与、日経平均株価は好調を維持しました。

一方、米中間による経済安全保障問題の深刻化、中国の不動産不況に始まる中国経済の失速、中東情勢の緊迫化、ロシアによるウクライナ侵攻も収束が見えない中、海外情勢は引き続き不安定な状況にあります。そのため、今後もサプライチェーンの維持確保・物価高騰・為替変動への影響には充分留意することが必要となります。

当社の主要販売先となる国内建設市場では、第2四半期累計期間における新設住宅着工戸数は41.5万戸と、前年同期間と比較して6.2%減少しております。他方、国内自動車生産は、半導体不足も解消し中部圏を中心に堅調な回復が見られ、国内乗用車生産台数は前年同期間と比べ21.5%増となりました。

このような環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,744百万円（前年同四半期2,632百万円、4.2%増）となり、その内訳は建設・梱包向が2,008百万円（前年同四半期1.4%減）、電気・輸送機器向は735百万円（前年同四半期23.5%増）であります。売上総利益は、455百万円と前年同四半期に比べ17百万円（3.9%増）の増益となり、これは建設・梱包向及び電気・輸送機器向において、さらに販売価格の改定が進んだこと、高付加価値製品の販売比率が高まったこと、生産性の一層の向上によって製造コストの削減が進んだことが主要因となります。営業利益も、81百万円（前年同四半期43百万円）と増益となりました。賃上げや諸経費上昇の影響がありましたが、運賃コスト抑制や固定費削減活動推進により、販売費及び一般管理費が前年同四半期に比べ20百万円減少したことにより、経常利益につきましても、76百万円（前年同四半期39百万円）と増益となりました。最終的な親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等16百万円を差し引き60百万円（前年同四半期25百万円）と大きく改善いたしました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (建設・梱包向)

当社グループの主たる事業である建設・梱包向のうち建設向は、資材価格高騰に起因する住宅価格上昇の影響を受けて、持家を中心に新設着工戸数が減少傾向にある中、当社の販売数量も前年同四半期対比で大きく減少しました。しかし収益面では、販売価格の改定が定着し、当セグメントの売上高は前年同四半期に比べ1.4%減と微減に留まり、販売価格の上昇が数量減少を補完した形となっております。固定費削減、海外OEM商品と国内生産品のプロダクトミックス最適化の結果、セグメント利益は前年同四半期に比べ13百万円増の134百万円となりました。

#### (電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、連結子会社である株式会社ナテックの当第2四半期（1～6月）において、メインユーザーである自動車業界の生産回復を受けて、同社の生産も高水準で推移しました。特に、電気自動車・ハイブリッド車関連のバッテリー・モーター及び自動運転化関連に使用されるライセンス品やボルト・特殊締結品の需要回復が顕著であります。また家電や遊戯関係向けの需要も堅調に推移しました。この結果、当セグメントの売上高は、735百万円と前年同四半期に比べ139百万円増（23.5%増）となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ18百万円増の42百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ・資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、5,439百万円（前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕対比155百万円減）となりました。流動資産は、前年度末に比べ107百万円減少し、3,489百万円となりました。これは、商品及び製品が117百万円減少、原材料及び貯蔵品が90百万円減少、仕掛品が8百万円減少、現金及び預金が107百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ48百万円減少し、1,950百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の設備投資24百万円の増加に対して、減価償却費76百万円等によるものであります。

## (負債)

負債合計は、前年度末に比べ198百万円減少し、4,140百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ153百万円減少し、2,970百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が前年度末に比べ122百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は、前年度末に比べ44百万円減少し、1,169百万円となりました。これは、主に長期借入金が前年度末に比べ57百万円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前年度末に比べ42百万円増加し、1,299百万円となりました。これは当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が60百万円、剰余金配当が17百万円あったことによるものであります。この結果、自己資本比率は、前年度末の22.5%から23.9%に改善し、1株当たり純資産も106.05円から109.64円と向上しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期以降の業績に関して、建設・梱包向は10～12月の需要期にかけて貸家を中心に新設住宅着工戸数が回復する見込みであり、それに伴って釘製品の需要も徐々に回復傾向に向かうものと考えております。加えて、カーボンニュートラルへの社会的な取組みが本格化する中、非住宅中高層建築物への木材活用が促進されており、当社オリジナル製品の需要、特に高機能が求められる特殊釘への需要は着実に伸びていくものと期待しています。収益面では、国内製品の製造コスト及び輸入商品の仕入価格が高水準で推移していることを踏まえ、適正価格での販売を継続しながら、引続き生産性向上やコスト削減を重点課題として取り組んでまいります。

他方、電気・輸送機器向は、半導体・部品不足が解消し、各自動車メーカーがより一層増産体制にシフトしていくことが見込まれており、為替相場の追い風による輸出拡大も生産量増加に拍車をかけることが期待されます。特に、電気自動車など環境対策車への需要は益々増加してくるものと見られており、自動車メーカーの生産増加に牽引され、当社子会社製品の出荷量も大きく伸長していくものと考えております。収益面では、高付加価値のライセンス製品やオリジナル加工品であるパーツフォーマー製品等の主力製品の出荷が好調推移し、全体収益を押し上げていくことが想定されます。

一方、世界的な金融引締めによる経済減速懸念、中東での地政学的緊張、低迷する中国経済など海外情勢が日本経済に及ぼす影響をリスクとして考慮しておくことも必要であります。

上述の状況を加味した上で、今後の事業環境を見通した結果、2023年8月10日に公表しました通期連結業績予想及び2023年5月10日に公表しました配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日2023年11月13日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	422,490	529,887
受取手形	314,910	307,313
売掛金	894,438	943,273
電子記録債権	264,898	239,596
商品及び製品	1,005,541	887,623
仕掛品	331,329	322,603
原材料及び貯蔵品	339,023	248,251
前払費用	14,636	13,621
その他	14,553	1,219
貸倒引当金	△4,596	△3,626
流動資産合計	3,597,224	3,489,765
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	637,666	617,706
機械装置及び運搬具（純額）	424,581	391,910
土地	732,441	732,441
その他（純額）	42,177	39,961
有形固定資産合計	1,836,867	1,782,019
無形固定資産		
ソフトウェア	17,241	39,711
その他	19,248	0
無形固定資産合計	36,490	39,711
投資その他の資産		
投資有価証券	226	226
長期前払費用	12,489	10,365
繰延税金資産	9,638	10,495
その他	114,739	119,097
貸倒引当金	△11,831	△11,706
投資その他の資産合計	125,262	128,478
固定資産合計	1,998,621	1,950,209
資産合計	5,595,845	5,439,975

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	715,356	592,987
電子記録債務	311,421	323,534
短期借入金	1,804,084	1,747,768
未払法人税等	44,499	20,990
未払消費税等	4,939	64,064
未払費用	70,546	91,414
賞与引当金	72,064	50,770
役員賞与引当金	6,910	3,123
その他	94,364	75,722
流動負債合計	3,124,185	2,970,374
固定負債		
長期借入金	999,316	941,992
繰延税金負債	4,266	4,739
役員退職慰労引当金	29,147	33,747
退職給付に係る負債	181,399	186,161
資産除去債務	249	249
その他	—	2,932
固定負債合計	1,214,378	1,169,822
負債合計	4,338,564	4,140,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	76,094	76,030
利益剰余金	607,174	649,824
自己株式	△41,203	△41,292
株主資本合計	1,257,281	1,299,778
純資産合計	1,257,281	1,299,778
負債純資産合計	5,595,845	5,439,975

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,632,349	2,744,164
売上原価	2,193,674	2,288,238
売上総利益	438,675	455,926
販売費及び一般管理費	395,166	374,798
営業利益	43,508	81,128
営業外収益		
受取利息	4	6
スクラップ売却益	—	764
その他	2,522	2,825
営業外収益合計	2,526	3,597
営業外費用		
支払利息	6,478	7,246
その他	0	492
営業外費用合計	6,478	7,738
経常利益	39,557	76,986
特別損失		
固定資産除却損	962	245
特別損失合計	962	245
税金等調整前四半期純利益	38,594	76,741
法人税、住民税及び事業税	13,292	16,690
法人税等調整額	△184	△384
法人税等合計	13,108	16,306
四半期純利益	25,485	60,434
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,485	60,434



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	25,485	60,434
四半期包括利益	25,485	60,434
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,485	60,434
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,036,547	595,802	2,632,349	—	2,632,349
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,036,547	595,802	2,632,349	—	2,632,349
セグメント利益	121,076	23,323	144,400	△100,891	43,508

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	144,400
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△100,891
四半期連結損益計算書の営業利益	43,508

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,008,428	735,736	2,744,164	—	2,744,164
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,008,428	735,736	2,744,164	—	2,744,164
セグメント利益	134,838	42,273	177,111	△95,983	81,128

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	177,111
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△95,983
四半期連結損益計算書の営業利益	81,128

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績及び仕入実績

当第2四半期連結累計期間における生産高及び仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高及び仕入実績(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	1,565,471	△18.7
電気・輸送機器向	605,398	+21.7
合計	2,170,869	△10.4

(注) 1 金額は、生産高は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	1,992,522	△4.2	349,046	△6.6
電気・輸送機器向	738,753	+21.8	137,325	+10.3
合計	2,731,275	+1.7	486,372	△2.4

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	2,008,428	△1.4
電気・輸送機器向	735,736	+23.5
合計	2,744,164	+4.2

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第2四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	421,523	16.0	585,082	21.3

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。